

磐城時報

創刊四十一年の磐城
印刷所 加納活版所
印刷部 加納活版所
電話 磐城二丁目五番地
電話 磐城二丁目五番地
電話 磐城二丁目五番地

平商業校の書記 愈々辭表提出 後任問題で揉める

平商業校書記木幡次郎氏は矢走をしてるか否かは暫らく措野校長を通じての辭職勧告によき、同書記の職務は純然たる事務に於て愈々一兩日中に辭表を提出務家を要求してゐるの事外なる事になつた。月給四十七圓交的色彩を帯びた者を排斥しての書記の後釜だから普通なら大なる關係から元平第二校首席訓導の書記でもないのだが、曩に導で飯野校長であつた長谷川政元平警察署長警部猪狩清さんが氏が最適任であるとの輿論が高命を賭けてねらつた椅子なので、既に後任が内定してゐるとその後任問題は嘗ての平商級助しても或る程度の紛糾は免れ難役人選問題類の騒ぎを演じていものと成行きは興味を以て見る。猪狩さんが更に就任の奔られてゐる。

賭博の遺恨から 土工の殴り込み

木劍出刃短刀と用意周到の 昨夜湯本の殺人沙汰

湯本町字三函土工賭博前科七犯が新一は「彼奴を殺せないと」越智新一(四五)は三十日午後八時「口惜しがつてゐた。時半ころ泥酔の揚句同町字上町中署より渡部、齋藤兩司法主任土木請負業山崎庄一(四九)方に急行、取調べたところ新一は懐怒鳴り込み折柄食事中の庄一めの中にも及渡り三寸餘の短刀を呑かけて持參の木劍をふり下したんで人を殺すの犯意は充分あつたところ庄一に木劍を奪はれたので、更に腰に差したる出刃を揮つて庄一の左手を斬り、ひるむ隙に胸部を一突き肋骨に達する重傷を負せたが急報により駆けつけた湯本駐在所員に取捕へられた。

消防記念日を迎へて 平組の活躍 消防精神の作興

平署では直ちに新一を本署に引致殺人未遂として嚴重取調べ中
来る三日は大日本消防協會總裁宮から令旨を奉つた消防記念日である。當日平消防組では午後零時半から平署會議室で令旨を奉まで三日間母校X會展覽會と合讀し終つて平第三小學校で規律同第二回繪畫展覽會を開く。

黒ダイヤ景氣の蔭に 苦境に喘ぐ無名炭礦

打續く黒ダイヤ景氣に黄金時代の甘夢に酔ひ痴れる常磐炭界にも亦無名炭礦の悲鳴が叫ばれてゐる。平稅務署では八年度礦業稅納納二千四百九十圓の整理のため豫て礦區を差押へてゐたが六日前午十時から同署樓上で公賣を執行する。差押へ礦區は左の通り。
名義人古川岩雄(鑛區箕輪、好問兩村に跨る十八万九千坪) 木村康一(勿來、川部兩村に跨る十二万二千坪)

運動と繪畫展 創立四十一年の磐城 警城中學校では今年を以て創立四十周年を迎へたので来る五日の恒例陸上運動會は例年より盛大に執行すべく目下準備に忙殺されてゐるが、なほ五日より三日間は同校内で第四十回美術部X會展覽會並に郡下小學校兒童作品展覽會も例年以上盛大に催される。

第二回白鴉展 警城中學校美術部X會出身者よ

警城中學校美術部X會出身者よの白鴉展は五日より七日の間は同校内で第四十回美術部X會展覽會並に郡下小學校兒童作品展覽會も例年以上盛大に催される。

又も義金募集 台灣震災救濟

未曾有の慘禍に喘いでゐる臺灣大震災民救済のため平町では又町内各區から義捐金を募集する。義捐金募集は再三のことなので町民の非難を感つた町當局では今度はグット桁を下げて總額二百圓程度とし各區に割當て募集することになつた。締切日は十日までの豫定。

廿万圓突破を目指し 小名濱の大敷網漁獲開始 目下盛んに豊漁を續く

小名濱に於ける大敷網は例年の恐喝現行犯として有無を云はさず如く平瀨町高橋漁業部の手によす検査され目下取調中、同部り過般準備を進めてゐるが早は身の丈六尺近く長髪容貌魁梧も去月二十七日から大謀網を偉で鬼もひしぐやうな大丈夫? 投網して漁獲を開始目下盛んにだが足が悪くて松葉杖を頼りに鯨、イカ類が網に入つて濱は豊歩行してゐる。この男、柄に似漁に賑はつてゐる。なほ小名濱合はず大の色情狂で女と見れば大敷網の昨年度漁獲高は約十萬圓に達したといふ始末に負へて幾分欠損したが、今年には潮の奴で取調への署員も呆れ返つ流好轉から豊漁の掛け聲が高いつてゐる。

赤ちゃん大會 参加を勧誘

大童への町當局
来る五日開く「第一回赤ちゃん大會」に平町役場で過般より参加赤ちゃんを募つてゐるが目下の應募者は四十五名であるが當日までには百五十名位参加させべく應募勧誘にますます手を延ぶることになつた。

玉川信組役員再選重任

玉川信組役員再選重任
組合では二十九日總會を開き役員改選を行つた結果左の如くいづれも再選重任した。
理事長駒木根忠三 理事竹原太津彌、長瀬彰義、橋本勇吉 渡邊三男雄。

誘き出して 斬り付く

小名濱の刃傷
古物商安田淺之助(三六)は去月二十日好問村の某から鐵屑の村大字大石生れ某新聞販賣員千他五十五圓を買入れたが記帳葉卯一郎(三八)は三十日午後九時を怠り三十日古物商遊反として時ころ同町觀音湯こと小松作太平署に取調へらる。

衛生掃除日割 四倉署管内春季

四倉署管内春季衛生掃除日割は三十日左の如く決定した。
二日久之濱 三日大野 四日草野 六日四倉 七日大浦 八日大久村(未定)

不良少年二人組 四倉署員も舌をまく

四倉町本町關内政太郎長男政治(十六假名)及同字新川坂本三之助(三男末次郎(十五假名)は此程不良少年として四倉署に檢舉せられ取調の結果兩名等は去る十六日日本町小港商店々舖より麻裏一足、十七日同町長谷川商店よりナイター二本、二十五日同町鎌田商店より麻裏一足、二十五日午後六時四十分頃長瀬前長瀬商店々舖より敷島三ヶ等を窃取したることを自白したが兩名は少年の身ながら好んで煙草を喫煙してゐるので取調の係官も舌をまいてゐる。

古物商遊反 平町七軒町

古物商遊反 平町七軒町
古物商安田淺之助(三六)は去月二十日好問村の某から鐵屑の村大字大石生れ某新聞販賣員千他五十五圓を買入れたが記帳葉卯一郎(三八)は三十日午後九時を怠り三十日古物商遊反として時ころ同町觀音湯こと小松作太平署に取調へらる。

妾宅を恐喝して歩く 薄氣味悪い行商人 命か金か? 勝負は夜だ 何んこ柄にない色情狂

大資本を擁する諸炭礦の重壓に抗しかねて衰れや休山同様の苦當時住所不定相馬郡中村町生れが惜しいか、金が惜しいか? 勝境に沈んでゐる、これら炭礦の銀行商人佐藤春吉(五四)は三十負はいづれ夜にする」と不氣味な経済難は軍需インフレに躍る常日午後五時ころ平町二丁目某のな捨せりふを獲て去つたが、磐城黄金時代の折柄だけに愛妾佐藤まつよ方に至り「金を更に隣家の遠藤花代方に行つて一又注目されるものがある呉れ」と強迫、拒絶されるや「命同様強迫中を駆付けた平署員に時ころ同町觀音湯こと小松作太平署に取調へらる。

自轉車ハ左記

有名車ヲ御撰擇下サイ。

世界的ニ進出セル

◎宮田ノ自轉車

◎夙ニ堅牢輕快ノ定評アル

◎ゼブラノ自轉車

◎實用經濟車トシテ好評アル

◎マートツ自轉車

◎マートツ號ノ好評ヲネタミ羊頭狗肉ノ策ヲ用ヒ偽物ヲ販賣ナシ商標ヲ侵害ナシツ、アル者アリ、法的解決ニヨリ御得意様ノ御了解ヲ得ン。

◎宮田代理店

◎ゼブラ代理店

◎マートツ代理店

エビスヤ商店

電話六六四

今年もお馴染の
横濱植木會社特撰の

ハナのタネが

参りました。何れも
輸出向優良種子です

西村屋藥局種子部

平 2・3電

理想的強壯營養料

血肉トローゼ

高級滋養劑で味甘く女子供も喜んでのめる。

適 血少なく顔色悪き人、胸おどろ

應 心臓弱き人、大病又は産後の衰

症 弱、過勞疲勞又は天性虛弱者

特 小兒の榮養不良

特に病氣見舞には最的品

特約店 **大平屋藥局**

平町二丁目 電話六四二番

カクテル
イキタヒテン352
レストランサロン

天敵省允許
無毒
共済共栄

RESTAURANT.
TEA AND WINE
洋食 喫茶
コンパル
平町電六六六番

吸入用酸素 純度 99%

度量衡
モノサシ
マ ス
ハカリ

秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス

写真機
材料一式

関内藥局
電話四〇番

安 全 全 剃 刀
(付 砥 皮 研 動 自)
鏡 衣 白
(種 各 小 大)

芳香園理髮器具店
平驛前(電話六八〇番)

化粧品、理髮器具一式
クリーム、ボマード……ハカリ賣り



自動研皮能付
パーフェクト安全剃刀

氷は魚清!!

電話四六七番へ

平二丁目警察署通り
本店 魚清氷卸部

支店 江名町築港内
販賣所 電話六九番

謹啓
母サダ儀 腦溢血ニテ昨三十日午後八時死去仕候間此段御通知申上候
追テ葬送ノ儀ハ來ル五月三日午後二時自宅出棺神谷村鎌田弘源寺ニ埋葬可致候
昭和十年五月一日
福島縣石城郡平町白銀町
水野隆介

耳鼻咽喉科 門專

病室完備…自炊の便あり

平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院

醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前

近代趣味……
パラソル豊富陳列

ツルヤ
電一四〇